

未来をつくる給食！

愛知オーガニックウェーブ

from 東郷

～オーガニックビレッジから紡ぐ美しい未来へ～

日時

2026年11月22日(日)

9:30受付 10:00～16:00

会場

東郷町町民会館 ホール

愛知郡東郷町春木北反田14番地

参加費

前売り1日券 2000円

当日1日券 2500円

午前券 1000円 午後券 1500円

大学生以下 無料(要予約)

前売り券は前日19時まで受付

申込み

QRコードの
Webページより→



講師

京都大学人文科学研究所教授

藤原辰史氏

スケジュール予定

午前の部 10:00～12:15

・映画「百姓の百の声」上映

午後の部 13:15～16:00

- ・みどり戦略とオーガニック給食
- ・オーガニックビレッジリレートーク
- ・藤原辰史氏講演
- ・愛知の給食トークセッション



オーガニックビレッジマルシェ

11:00～13:30 会館前広場

オーガニックビレッジから、
農産物や無添加食品など
自然派なお店が出店予定です

愛知県のオーガニックビレッジ

南知多町・東郷町・岡崎市・
大府市・美浜町・武豊町



FFC愛知
Instagram



主催：未来をつくる給食♡Foods for Children 愛知

お問合せ：✉foods4children.aichi@gmail.com ☎080-5131-9966

後援：東海農政局・愛知県・愛知県教育委員会・東郷町・東郷町教育委員会

上映映画

柴田昌平 監督
ドキュメンタリー

「百姓の百の声」

ようこそ、食べ物が生まれる国へ

食べている限り、誰の隣にも「農」はある。
なのにどうして、これほど「農」の世界は私たちから遠いのか。

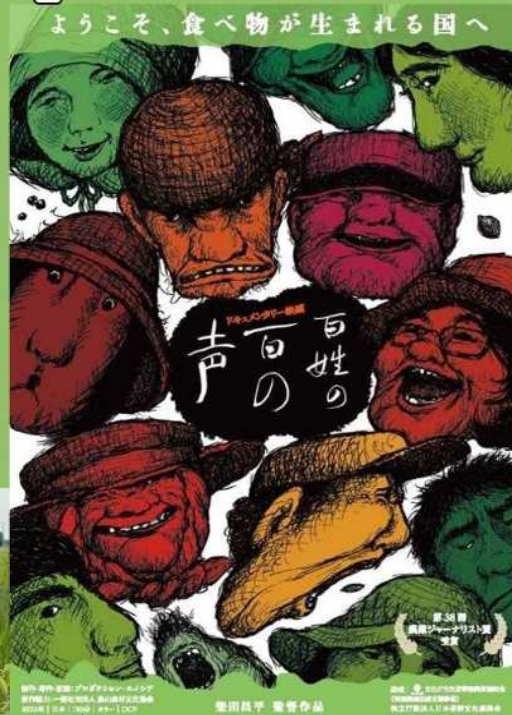
これは自然と向き合い、作物を熟知する
百姓たちの叡智を訪ねたドキュメンタリー。

食卓の向こう側にいる「耕す人々」の世界の入り口が、ここにある。

畑で農家の人たちが何と格闘しているのか、ビニールハウスの中で何を考えているのか。
全国の百姓たちの知恵・工夫・人生を、美しい映像と丁寧なインタビューで紡いだ映画が
完成しました。

普段私たちが漠然と「風景」としか見ていない営みの、そのコアな姿が、鮮やかに浮かび
上がります。今後経済が下向き、食糧輸入に頼れなくなると予想される日本で、いま必要
とされる力は復元力。百姓たちには本来これが備わっています。

映画に登場する百姓たちは、小手先では解決しないさまざまな矛盾を、独自の工夫で克服
していきます。



●百姓とは

何でも自分でできる人、という意味で、
農家にとっては誇りに思う言葉です。



映画公式サイト



映画予告

藤原先生映画推薦のことば（抜粋）
「この国はあなたを待っている」

百姓の国の住人たちは、あなたのたった一度かぎりの人生が楽しくあることを祈っている。あなたの一度かぎりの人生を満たす食べものの作り方を、地球上全てのの人に公開している。そもそもの度量の桁が違う。スパイにだって教えてもかまわない。なぜなら、百姓の国の住人たちの背後には、何千年も蓄えられた知識が控えているから。腕に自信があるのだ。ちょっと情報を盗んだくらいで真似できるようなレベルの仕事をしていない。目先の利益を得るために億単位の金を動かすような、スケールの小さなことに人生を賭けはしない。五〇年先の利益のために仕事をするスケールの大きな人たちの集まりだ。
この映画は、あなたの人生を変える方法を教えている。仕事を楽しむための工夫が楽しくてたまらない人たちの撮った楽しい映画だ。溢れんばかりの豊かさを享受せよ、と出演者たちは私たちに示している。

講師紹介

「食と農」の歴史家 藤原辰史氏（ふじはら たつし）

1976年生まれ。京都大学人文科学研究所教授。
専門は食と農の現代史。生態系の中に組み込まれた人間の在り方から、現代史を再構築する試みを続けている。

『ナチスのキッチン』（水声社、2012年。完全版＝共和国、2016年）で河合隼雄学芸賞、『分解の哲学』（青土社、2019年）でサントリー学芸賞、『給食の歴史』（岩波新書、2018年）で辻静雄食文化賞、また、研究全般に対して2019年に日本学術振興会賞、2026年に井上靖記念文化賞を受賞。他にも、『カブラの冬』『食べることはどういうことか』『歴史の肩担い』『植物考』『食権力の現代史』『生類の思想』など著作多数。



トーク

- ・みどりの食料システム戦略とオーガニック給食
東海農政局持続的食料システム戦略推進官のお話
- ・オーガニックビレッジリレートーク
愛知県、東郷町、岡崎市、大府市、
美浜武豊グッドローカル推進協議会の発表
- ・藤原辰史氏講演
「オーガニック」の根源的意味
——歴史研究からの展望
- ・愛知の給食トークセッション
愛知県給食会理事長 高橋伸至氏、藤原辰史氏

オーガニックビレッジとは

有機農業の拡大に向けて、ほ場の団地化などの生産から学校給食の利用など消費まで一貫した取組を、農業者、事業者、地域内外の住民などの関係者が参画の下、地域ぐるみで進める市町村のことで

農林水産省としては、みどりの食料システム戦略を踏まえ、このような先進的なモデル地区を順次創出し、横展開を進めています。

